

TTPU NEWS

富山県立大学ニュース

NO. 133

| Summer | 2022



p.2-3 Close-Up県大

本学講師、南極地域観測隊に参加

p.3-4 キャンパストピックス

p.5-6 インフォメーション

p.6 受賞情報

p.7 人事消息

p.7 新任教員紹介

p.8 サークル紹介・スケジュール

南極地域観測隊での活動の様子やエピソードをお話いただきました!



「ドンドンマス 富山県立大学」
プロジェクトリーダー ドンマス教授

MAKE
TOYAMA
STYLE

BEYOND CORONA, WITH US

本学講師、南極地域観測隊に参加

工学部の中澤 暦講師が第63次南極地域観測隊(夏隊)に参加され、2021(令和3)年12月より現地でのモニタリング調査(陸上生物)に取り組み、2022年(令和4)年3月末に帰国されました。観測活動の様子やエピソードなどについてお話をいただきました。



昭和基地空撮(国立極地研究所提供)。

数年前から国の研究費に採択され、本格的に国立極地研究所の研究者らと共同研究を開始しました。その中で昭和基地の土壤中水銀のデータを分析・解析をする機会があり、初めて南極産試料に触れました。

コロナ禍での出発

コロナ禍のため、私達63次南極地域観測隊は横須賀のホテルでの隔離、隔離開始日と乗船前の2回PCR検査を受けました。一度でも陽性になると観測隊への参加はできません。特に隔離開始日のPCR検査の結果は合格発表待ち受験生のようにドキドキしました。昭和基地は医療体制が脆弱なため、細心の注意を払っての出発でした。

2021年11月10日に海上自衛隊横須賀地方総監部から、停泊中の「しらせ」に乗船しました(注:しらせは海上自衛隊が運航・管理しています)。当日の早朝、隔離先のホテルでテレビをつけ、最後の準備をしていました。するとテレビから「これは自衛隊の横須賀基地ですね。南極観測船「しらせ」が今日出発します。」という声が聞こえてきました。テレビに視線をやると朝焼けに照らされたオレンジと白がまぶしい「しらせ」がテレビ中継されていました。「ああ、ついにこの日が来た・・・。」思わず、テレビ画面を写真に撮ってしまいました。

南極ではどのような調査や観測をされたのですか—

観測隊の隊員はそれぞれ役割が決まっています。モニタリングや研究を任務とする隊員の他、設営部門といって、発電機、車両、建築、医療、調理、通信、フィールドアシスタントなど、主として生活インフラを担う隊員等、各分野のプロフェッショナルが集まっています。

私は陸上生物モニタリングの隊員として観測隊に参加しました。主な調査地は昭和基地と昭和基地から数十km離れた岩が露出している場所(露岩域)でした。南極は98%が氷床に覆われていますが、残りの2%は露岩域と



なかざわ こよみ

中澤 暦 講師 工学部環境・社会基盤工学科

専門は環境科学、環境リスク学。研究では、環境問題解決のためにフィールドに出て、大気、水、土壌、植物などを現場で採取、持ち帰って研究室で環境汚染に関わる物質を分析・解析している。そこから環境問題解決のために何が言えるかを考察している。



今回の調査のメインは露岩域だった。



ゴムボートに乗って湖沼の水質調査を行う。

いられています。この露岩域で植物(コケなど)の生息状況の調査や土壌の採取、湖での水の採取や水質計による観測、気象や大気の観測を行いました。これらの調査は、南極の陸上生物と、それを取り巻く環境要因との関係を明らかにする目的で行っています。

そして、前述した共同研究者らがかつて土壌を採取した場所でも自ら土壌の採取も行いました。待ちに待った瞬間でした。



昭和基地で大気中水銀について調べる。



共同研究者がかつて土壌採取した地点で自らも土壌を採取した。

野外調査地ではどのような生活を—

露岩域へはしらせ飛行科が管理するヘリコプター(愛称“オーロラ航空”)に乗って出かけます。調査道具、非常用装備、テント、食料・・・ひとつあたり10kgを超えることもある荷物数十個をヘリの搭乗口に、時にはバケツリレーしながら運び入れます。

野外調査では食事も自分達で準備します。食材はバラ

令和4年4月

DX教育研究センター 供用開始

DXとはデジタル・トランスフォーメーションの略で、デジタル技術を活用することにより社会に変革をもたらし、人々の暮らしをより良くするという概念です。射水キャンパスにDX教育研究センターを新設し、地域社会はもとより広く人々の生活を支援するための人材教育や高度な研究を推進します。センターでは、最新の機器の活用により最先端の教育や研究に携わることができ実社会で活躍する優秀なDX人材を育成します。

また、センターでは、社会人リカレント講座を開催し、県内企業のDX化推進に向けた普及啓発に取り組みつつ、新たなイノベーションの種(シーズ)を生み出す環境づくりとして、教員や学生、企業、自治体関係者など多様な人材が参加し、自由な議論や研究が行えるコワーキングスペースを設け、大学の知を活かしたオープンイノベーションを推進していきます。



没入型VRシステム



学内合同企業研究会

2月28日(月)～3月4日(金)に、オンラインで、学内合同企業研究会を開催しました。この企業研究会は、令和5年3月卒業・修了予定の学生が、企業の業種・職種等について研究し、企業の採用スケジュール等について企業の人事担当者から情報収集を行うもので、5日間で延べ419名の学生及び計252の企業が参加しました。



露岩域へ向かうヘリコプターから撮影した一枚。一面白銀の世界が広がる。

エティ豊かで缶詰や非常食といった常温品その他、冷凍品(野菜、肉、加工品)を大量に持って行きます。メニューは野菜炒め、カレー、フライパンでの焼き肉、おでん、揚げ物などでした。調理で水をふんだんに使えばその廃水処理に困ります。汁物は飲み干すか別の料理に再利用、食器や調理器具はキッチンペーパーで拭うのみでした。メニューから調理方法まで後片付けをいかに楽にするかは知恵の絞りどころでした。

また、調査の傍ら、岩場を歩くペンギン、ガレ場のような場所に営巣するユキドリ、食料や調査用具を見に来るトウゾクカモメの姿も見ることができました。物珍しい動物が登場する度に、隊員たちは観測やテント設営中、調理中でも一時作業の手を止め、一斉に見とれたり写真に収めたりしていました。



テントのそばにやってきたアデリーペンギンに皆で見とれる。



ユキドリ



トウゾクカモメ

南極での調査は長い間やってみたいことのひとつでした

大学に入学して環境分野の研究をするようになってから漠然と、南極で調査をする自分にあこがれを持つようになりました。とはいえ、自分が参加できるような機会はまるでありませんでした。当時「南極で調査をする自分」というのは“遠すぎる夢”でした。

しかし、国立極地研究所の研究者らと共同研究を始めてから、突然南極観測隊への参加が現実味を帯びました。

今は荒唐無稽で、目標がものすごく遠く見えても、日々目の前のことを全力でこなすうち、自分がしてみたいと思っていたことが近づいてくることもあります。

持ち帰ったサンプルやデータの一部はこれから、ゼミ生と共に分析・解析をしていく予定です。そして“南極観測隊小断”は担当講義でも少しずつ紹介しています。私自身の経験を学生と分かち合いながら、たとえ今の自分にとって遠すぎて目標を忘れずに、そしてチャンスが到来したときに迷わず掴むために準備することの大切さも伝えていきたいと思います。

Campus Topics

令和3年度 学位記授与式

3月19日(土)、アイザック小杉文化ホールラポールにおいて、令和3年度学位記授与式が行われ、工学部の卒業生331名と大学院の修了生86名が新たな一歩を踏み出しました。式では、各学科の成績優秀な学生1名にベストチューデント賞が贈られました。

- 機械システム工学科——川村 諒
- 知能ロボット工学科——吉岩 慎之助
- 電子・情報工学科——北條 佑斗
- 環境・社会基盤工学科——高橋 美優
- 生物工学科——藤野 雄大
- 医薬品工学科——仲谷 尚人

式に併せて、本学の客員教授で富山経済同友会特別顧問の中尾哲雄氏の特別功労表彰状贈呈式と名誉博士記授与式を行いました。



令和4年度 入学式

4月6日(水)、アルビス小杉総合体育センターにおいて、令和4年度入学式が行われ、642名の新しい学生を迎えました。式では、下山勲学長が、「未踏の地を切り開く気概を身につけてください」と呼びかけ、新田八朗知事が祝辞を述べられました。

最後に工学部の肥田彩花さん、看護学部の小橋桃子さん、大学院の坂野瑛さんが新入生を代表して誓詞を述べました。



寺島修准教授 とやま賞受賞

寺島修准教授(機械システム工学科)が、富山県ひとづくり財団の「第39回とやま賞」科学技術部門(振動音響工学分野)を受賞し、5月23日(月)に贈呈式が行われました。

今回受賞の対象となった研究業績は「高精度圧力計測技術とスマートマテリアルを利用した振動騒音制御技術の開発」です。機械製品の振動騒音を低減するための計測技術や装置に関する研究開発成果の新規性と独創性が高く評価されました。



令和4年度 富山県立大学研究協力会総会

5月30日(月)、オークスカナルパークホテル富山において、「令和4年度富山県立大学研究協力会総会」(会長:コーセル株式会社 代表取締役社長 谷川正人氏)が開催され、令和3年度事業報告及び収支決算、令和4年度事業計画及び収支予算等が審議、承認されました。

総会後は、唐山英明DX教育研究センター所長が講演を行うとともに、3年ぶりに交流会が開催され、会員企業と本学教員とが交流を深めました。



大谷米太郎記念基金事業による大谷米太郎記念賞及び大学院修学奨学金授与式の開催

大谷米太郎記念基金により平成27年度から実施している大学院修学奨学金について、令和3年度から新たに大谷米太郎記念賞を設け、副賞として奨学金を授与することといたしました。

大谷米太郎記念賞の授与式は、去る3月19日に挙行された学位記授与式に併せて行われ、5名の大学院生に、下山勲学長から表彰状と奨学金の目録が授与されました。

大谷米太郎記念基金は、本学の前身の県立大谷技術短期大学の開学に多大な貢献をされ、郷土愛にあふれ、鉄鋼・ホテル・流通業の分野で大きな業績を残された本県出身の実業家の大谷米太郎翁が出捐・設立された財団の残余資産をもととした基金です。翁(故人)やご子孫の願いを踏まえ、優秀な人材を育成するための学生支援事業と

して、本学大学院博士前期課程を優秀な成績で卒業する2年次生を対象に、その功績を讃えるとともに奨学金を授与することとしています。

今回、奨学金を受けられた皆さんには、学生の模範として一層勉学に励まれ、優秀な研究者や技術者として活躍されることを期待します。

本学も、学生の皆さんの励みとなるよう、今後とも本事業による支援を続けてまいります。



Information 1 「公立大学法人富山県立大学安否確認システム (ANPIC)」

●安否確認システム (ANPIC) について

本学では「公立大学法人富山県立大学安否確認システム (ANPIC)」を導入しています。富山県で「震度6弱」以上の地震が発生したときは、あらかじめ学生の皆さんに登録していただいているメールアドレス等にANPICから安否確認メールが自動送信され、受信した学生は安否状況を報告することになります。

上記以外の災害発生時等においては、発生した災害による影響を鑑み、必要に応じて大学の管理者が手動でメール配信を行います。

●安否検索

ANPICは、ご家族が、本学の学生の安否情報を検索して、確認をすることができます。

電話でのお問い合わせには、時間がかかる場合がありますので、ご家族の方は、できるだけ【ANPICログインサイト】のURL※にアクセスして、安否検索をご利用くださいますようお願いいたします。なお、安否情報は、平常時は非公開に設定しています。大規模災害時にご家族が学生及び教職員の安否を確認できるように一時的に公開します。※本学ホームページにリンクを掲載しています。

Information 2 博士の学位授与報告

【課程博士】

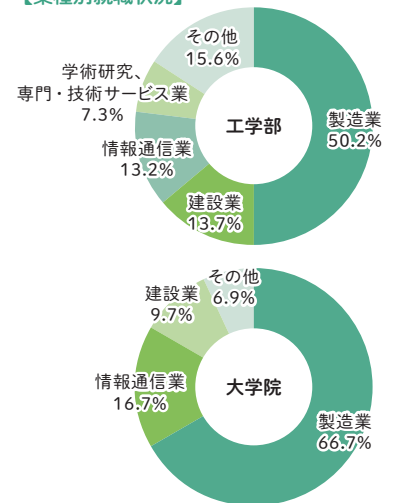
令和3年度において、博士(工学)の学位を授与された方の氏名と所属専攻、論文題目は次のとおりです。

学位申請者	所属専攻名	論文題目	授与日
ムハンマド ロコン ウル カリム Md. rokon Ul Karim	生物工学専攻 (R3.3.31満期退学)	Exploitation of a marine bacterial resource for drug lead discovery (医薬探索のための海洋細菌資源の開拓)	R3.9.24
いしい まさとし 石井 雅俊	機械システム工学専攻 (R3.3.31満期退学)	電子機器の電気と熱の連成解析のための相変化材料のSPICEモデルに関する研究	R4.3.19
やしき かずひで 屋敷 和秀	機械システム工学専攻	セルロースナノファイバー添加アクリル中間膜を用いたガラス/ポリカーボネート積層安全ガラスの衝撃破壊挙動に関する研究	R4.3.19
リュウ リツキョウ 劉 立強	知能デザイン工学専攻 (H29.3.31満期退学)	Study on Preparation and Characterization of Lead-Free Piezoelectric Films (非鉛系圧電膜の作製と評価に関する研究)	R4.3.19
アラスーリヤ アラチガヤン ダルシヤナ アラスーリヤ Amarasooriya Arachchige Gayan Darshana Amarasooriya	環境工学専攻 (R2.3.31満期退学)	Fluoride, Alkalinity and Hardness Removal from Contaminated Water by Electrolysis in relation to Sri Lankan Context (電気分解によるスリランカの飲料水からの、フッ素、アルカリ度、硬度の除去)	R4.3.19
バンバン アディ プリヤンボドホ Bambang Adhi Priyambodho	環境工学専攻 (R2.3.31満期退学)	Future Flood Projections in Jakarta, Indonesia based on Urban Development and Urban Climate Change (インドネシア・ジャカルタにおける都市開発と都市気候変動に伴う将来の洪水氾濫予測)	R4.3.19
テイ ダイグン 鄭 代軍	生物工学専攻 (H31.3.31満期退学)	Studies on the enzymatic synthesis of chiral hydroxyl nitriles (キラルなヒドロキシルニトリル類化合物の酵素合成に関する研究)	R4.3.19
チョウ チイ 張 智偉	生物・医薬品工学専攻	Study on secondary metabolites of marine-derived actinomycetes (海洋由来放線菌の二次代謝物に関する研究)	R4.3.19

Information 3 令和3年度卒業・修了生進路状況 (令和4年3月31日現在)

	卒業・修了者数	就職者数		進学者数	
			うち県内就職		うち本学大学院
工学部	332 (88)	205 (62)	98 (37)	125 (25)	122 (24)
機械システム工学科	62 (2)	40 (1)	20 (0)	21 (1)	21 (1)
知能ロボット工学科	50 (4)	24 (4)	10 (2)	26 (0)	24 (0)
電子・情報工学科	78 (10)	52 (9)	23 (4)	26 (1)	26 (1)
環境・社会基盤工学科	55 (20)	44 (16)	16 (9)	11 (4)	11 (4)
生物工学科	49 (32)	29 (22)	16 (14)	20 (10)	20 (10)
医薬品工学科	38 (20)	16 (10)	13 (8)	21 (9)	20 (8)
大学院・博士前期課程	79 (15)	72 (12)	15 (3)	6 (2)	4 (1)
機械システム工学専攻	15 (2)	15 (2)	2 (0)	0 (0)	0 (0)
知能ロボット工学専攻	18 (1)	17 (1)	3 (0)	1 (0)	0 (0)
電子・情報工学専攻	27 (5)	24 (4)	4 (1)	3 (1)	3 (1)
環境・社会基盤工学専攻	8 (1)	7 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)
生物・医薬品工学専攻	11 (6)	9 (5)	4 (2)	2 (1)	1 (0)

【業種別就職状況】



() は女子内数

Information 4 対面型オープンキャンパス2022

高校生や保護者の皆様などにキャンパスを開放し、本学への関心・理解を深め、進路選択の一助としていただくことを目的に、対面でのオープンキャンパスを開催します。

●日時：7月30日(土)

[工学部]
9:00～(受付8:30～)

[看護学部]
9:30～(受付9:00～)

●日時：8月17日(水)

[看護学部]
9:30～(受付9:00～)

●会場：富山県立大学

[工学部] 射水キャンパス
[看護学部] 富山キャンパス

工学部 高校生向けコース

コース(I)～(VI)
(I) 機械システム工学科
(II) 知能ロボット工学科
(III) 電気電子工学科
(IV) 情報システム工学科
(V) 環境・社会基盤工学科
(VI) 生物工学科 医薬品工学科

学部・学科紹介、学生発表、入試概要説明、模擬講義、研究室見学等

工学部 保護者・教員向けコース

学部紹介、キャリア支援紹介、入試概要説明、学生発表、学内施設見学等

看護学部 高校生向けコース

学部・学科紹介、入試概要説明、模擬講義、学生発表、学内施設見学等

看護学部 保護者・教員向けコース

学部・学科紹介、キャリア支援紹介、学生発表、入試概要説明、学内施設見学等

Information 5 富山県立大学 ダ・ヴィンチ祭2022を開催します!

今年も、新型コロナウイルス感染症の影響で例年どおりの規模でのダ・ヴィンチ祭は開催できませんが、感染症対策を施したうえでのこども科学製作教室の開催及び特設HP上で本学教員・学生による企画動画配信を実施します。科学に関する様々な発見ができるかも!

※新型コロナウイルス感染症の状況次第では、こども科学製作教室の実施を取りやめる可能性があります。詳細は、特設HPをご覧ください。

特設HP上での動画配信 20企画

●公開期間 7月1日(金)～8月31日(水)

こども科学製作教室 11企画 ※全て事前申込が必要

- 日時 8月6日(土) 12:00～16:00 企画により開始時間が異なります。
- 場所 富山県立大学射水キャンパス 中央棟
- 参加料 無料
- 問合せ先 富山県立大学ダ・ヴィンチ祭実行委員会事務局
ホームページ <https://www.davinci-fes.net/>
TEL 0766-56-7500(内1234) FAX 0766-56-6182 e-mail:davinci@pu-toyama.ac.jp

Information 6 キャリア支援 (就職・進学)セミナー

本学では、就職活動を控える学生及び保護者の皆様を対象に、最新の就職状況や就職活動のポイント等をご紹介するため、次のとおり、キャリア支援セミナーをオンラインで開催します。多数のご参加をお待ちしております。※詳細はチラシ及びHP等でお知らせいたします。(7月下旬頃を予定)

- 開催日 8月20日(土) 14:00～16:00
- 参加料 無料
- 問合せ先 事務局教務課学生係
〒939-0398 射水市黒河5180
TEL 0766-56-7500(内線1258)
FAX 0766-56-6182

受賞情報

教員の受賞 受賞日順、学科名、職位は受賞時のもの

森川 大輔 講師/工学部知能ロボット工学科
第62回日本音響学会論文賞 古井賞

Acoustical Science and Technology誌の42巻4号に掲載された「Origin of frequency dependence of interaural time difference」に対して **R4.3.10受賞**

岩田 達哉 講師/工学部電気電子工学科
電子情報通信学会エレクトロニクスソサイエティ活動功労表彰
電子デバイス研究専門委員会幹事としての貢献 **R4.3.15受賞**

大寺 康夫 教授/工学部電気電子工学科
電子情報通信学会 教育功労賞
エレクトロニクスシミュレーション分野での学生論文指導 **R4.3.17受賞**

宮島 敏郎 准教授/工学部機械システム工学科
日本設計工学会 学生優秀発表指導教員賞
日本設計工学会 2021年度秋季大会研究発表講演会にて指導学生が学生優秀発表賞を受賞したことで、その指導教員にも贈られる賞 **R4.5.21受賞**

寺島 修 准教授/工学部機械システム工学科
第39回とやま賞科学技術部門(振動音響工学分野)
高精度圧力計測技術とスマートマテリアルを利用した振動騒音制御技術の開発 **R4.5.23受賞**

学生の受賞 学科名、学年、指導教員の職位は受賞時のもの

木瀬 智子 博士前期課程生物・医薬品工学専攻1年
The 16 Anniversary India-Japan Fest BICON-2021 Best Oral Presentation
指導教員: 講師 安田 佳織、特別研究教授 榊 利之 **R3.12受賞**

酒井 翼 博士前期課程知能ロボット工学専攻2年
学生優秀論文発表賞(2021年度電気・情報関係学会北陸支部連合大会の発表に対して日本音響学会北陸支部から授与)
指導教員: 講師 森川 大輔 **R4.1受賞**

木瀬 智子 博士前期課程生物・医薬品工学専攻1年
第74回ビタミン学会 若手海外優秀発表賞(AMUエアワード)
指導教員: 講師 安田 佳織、特別研究教授 榊 利之 **R4.2受賞**

重 昂輝 工学部機械システム工学科4年
日本機械学会 交通物流部門賞 最優秀賞
指導教員: 准教授 寺島 修 **R4.2受賞**

長野 孝亮 博士前期課程電子・情報工学専攻2年
2021年度 計測自動制御学会本部 優秀学生賞
指導教員: 教授 唐山 英明 **R4.3受賞**

中田 康佑 博士前期課程電子・情報工学専攻2年
2021年 電気学会 電子・情報・システム部門大会 優秀論文発表賞A
指導教員: 准教授 榊 原 一紀 **R4.3受賞**

西川 礼恩 博士前期課程機械システム工学専攻2年
日本機械学会 若手優秀講演フェロー賞
指導教員: 准教授 寺島 修 **R4.3受賞**

松崎 仁平 博士前期課程電子・情報工学専攻2年
計測自動制御学会 2021年システム・情報部門 SSI研究奨励賞
指導教員: 准教授 榊 原 一紀 **R4.3受賞**

山越 拓也 工学部電子・情報工学科4年
2021年度 情報処理学会北陸支部 優秀学生賞
指導教員: 准教授 岩本 健嗣 **R4.3受賞**

佐伯 慎吾 工学部電子・情報工学科4年
2021年度 計測自動制御学会本部 優秀学生賞
指導教員: 講師 西原 功 **R4.3受賞**

後藤 竜星 工学部電子・情報工学科4年
2021年度 映像情報メディア学会北陸支部 優秀学生賞
指導教員: 講師 西原 功 **R4.3受賞**

亀田 創太 工学部電子・情報工学科4年
2021年度 計測自動制御学会本部 優秀学生賞
指導教員: 講師 木下 史也 **R4.3受賞**

荻原 将吾 工学部電子・情報工学科4年
2021年度 計測自動制御学会北陸支部 優秀学生賞
指導教員: 准教授 岩本 健嗣 **R4.3受賞**

武藤 克弥 工学部電子・情報工学科4年
2021年度 電気学会北陸支部 優秀学生賞
指導教員: 教授 奥原 浩之 **R4.3受賞**

武田 尚樹 工学部環境・社会基盤工学科4年
令和3年度 土木学会中部支部優秀講演者賞
指導教員: 准教授 呉 修一 **R4.3受賞**

八木 隆聖 博士前期課程環境・社会基盤工学専攻2年
令和3年度 土木学会中部支部優秀講演者賞
指導教員: 准教授 呉 修一 **R4.3受賞**

山田 瑛菜 工学部環境・社会基盤工学科4年
令和3年度 土木学会中部支部優秀講演者賞
指導教員: 准教授 呉 修一 **R4.3受賞**

西川 礼恩 博士前期課程機械システム工学専攻2年
日本設計工学会 武藤栄次賞優秀学生賞
指導教員: 准教授 寺島 修 **R4.3受賞**

森崎 稜磨 博士前期課程機械システム工学専攻2年
日本機械学会 三浦賞
指導教員: 准教授 寺島 修 **R4.3受賞**

森崎 稜磨 博士前期課程機械システム工学専攻2年
自動車技術会 大学院研究奨励賞
指導教員: 准教授 寺島 修 **R4.3受賞**

佐伯 真彬 博士前期課程電子・情報工学専攻1年
IEEE名古屋支部国際会議研究発表賞
指導教員: 講師 岩田 達哉、教授 吉河 武文 **R4.3受賞**

高松 由樹 工学部環境・社会基盤工学科4年
年会学生ポスター発表賞(ライオン賞)
指導教員: 講師 端 昭彦 **R4.3受賞**

八木 隆聖 博士前期課程環境・社会基盤工学専攻2年

令和3年度 土木学会中部支部支部長賞

指導教員：准教授 呉 修一

R4.3受賞

小谷 祥悟 博士前期課程電子・情報工学専攻1年

電子情報通信学会 システム数理と応用研究会
2022年WIPセッション優秀論文賞

指導教員：准教授 中村 正樹

R4.3受賞

奥井 亮汰 機械システム工学専攻 修了後、受賞

(博士前期課程2年時の成果が表彰されたもの)

日本設計工学会 学生優秀発表賞

指導教員：准教授 宮島 敏郎

R4.5受賞

石橋 璃子 博士前期課程生物・医薬品工学専攻2年

日本生化学会北陸支部第40回大会 学生ベスト発表賞優秀発表賞

指導教員：教授 長井 良憲

R4.6受賞

森川 愛水 看護学部看護学科4年

富山県看護協会主催

令和4年度「看護職員等からの体験談」特別賞

指導教員：講師 村田 美代子、助教 三加 り子 R4.5受賞

人事消息

就 任 (R4.4.1)	附属図書館長	川上 智規
	地域連携センター所長	神谷 和秀
	キャリアセンター所長	鈴木 真由美
	生物・医薬品工学研究センター所長	加藤 康夫
	DX教育研究センター所長	唐山 英明
	学長補佐(入試・教務等担当)	高木 昇
昇 任 (R4.4.1)	学長補佐(情報担当)	鳥山 朋二
	学長補佐(大学院等準備担当)	佐伯 和子
	工学部教授	岡本 啓
	工学部教授	室 裕司
	工学部准教授	濱 貴子
	工学部准教授	佐伯 孝
	工学部准教授	立花 潤三
	工学部准教授	奥 直也
	工学部講師	森島 信
	工学部 新規採用 (R4.4.1)	工学部准教授
工学部准教授		柳 有起
工学部准教授		山田 武見
工学部講師		モクタリ 明子
工学部講師		石田 知子
工学部講師		山田 周歩
工学部講師		吉見 和紘
工学部助教		孫田 佳奈
工学部助教		布施 陽太郎
工学部助教		ミヤグマルドラム ビルグウナ
看護学部 新規採用 (R4.4.1)	看護学部准教授	河相 てる美
	看護学部講師	中堀 伸枝
	看護学部助教	室谷 寛
退 職 (R4.3.1)	工学部教授	西田 洋巳
	工学部講師	上村 一貴
	看護学部講師	若林 理恵子
	工学部助教	玉本 拓巳

新任教員紹介

- 工学部**
- 教養教育センター／准教授 齊藤 陽子**
専門分野は運動生理学、専門実技はアイススケートです。本学では健康科学領域の科目を担当し、主に身体活動の重要性について様々な角度からお話しさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。
- 教養教育センター／准教授 柳 有起**
教養教育センターに准教授として着任しました。物質が示す磁性や超伝導といった様々な現象の理論研究が専門です。教育・研究を通して富山県の発展に貢献できればと考えています。よろしくお願いいたします。
- 教養教育センター／准教授 山田 武見**
4月より着任の山田です。専門は物性物理学で、強く相互作用する電子系の理論研究を行っています。大学の一員として研究・教育に邁進し、地域の発展に貢献して参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
- 教養教育センター／講師 モクタリ 明子**
英語教員として着任しました。専門は言語学で、語学教育や自然な合成音声の開発に貢献できる研究を目指しています。英語力の重要性が増す今、学生が胸を張って社会に出ていけるよう、英語教育に尽力して参ります。

工学部



教養教育センター／講師 石田 知子

本年度より教養教育センターに着任いたしました。専門は科学哲学で、科学の様々な側面を主に哲学の観点から分析しております。研究・教育ともに尽力いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。



機械システム工学科／講師 山田 周歩

環境配慮設計や多目的満足化に向けた設計支援手法の研究を専門としております。環境や経済性などの複数要件を俯瞰、総合した設計や、意思決定、合意形成を主導できるような卒業生を輩出できるよう努めて参ります。



環境・社会基盤工学科／講師 吉見 和紘

河川工学や水文学が専門です。流出過程のモデリング、気象レーダデータの解析・利活用、河川観測や気象観測など、解析のみならずフィールドワークなども行いながら幅広く研究しています。よろしくお願いいたします。



教養教育センター／助教 孫田 佳奈

専門は生物学で、特に植物の多様性を生じる適応進化機構の解明を目指して研究しております。今後、富山の植物多様性についての研究を行い、教育を通じて社会に発信していきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。



知能ロボット工学科／助教 布施 陽太郎

4月より本学に着任いたしました。これまで、人間とロボット間のやり取りや関係性についての研究に取り組んできました。研究・教育を通じて、主体的に考える楽しさを学生さんに伝えられるよう尽力いたします。



知能ロボット工学科／助教 ミヤグマルドラム ビルグウナ

4月に知能ロボット工学科の助教として着任いたしました。これまでは独自の予測モデルによるAI解析を用いて電動航空機、ロボット遠隔操作の電波通信を研究してきました。富山県DX化に貢献したいです。宜しくお願い致します。



知能ロボット工学科／助教 李 豊羽

4月より知能ロボット工学科機能ロボティクス講座の助教として着任いたしました。本学教員として教育と研究を通じて社会に貢献できるロボット開発に尽力して参りたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

看護学部



看護学科／准教授 河相 てる美

成人看護学(急性期)講座に着任いたしました。病院勤務では急性期の病棟と手術室を経験しました。本籍地は射水市です。地元富山県の看護教育に貢献できますよう尽力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。



看護学科／講師 中堀 伸枝

地域看護学講座に着任しました。地域における様々な健康課題や、それに創造的に取り組める保健師・看護師の育成について、研究・教育の両面から取り組みたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



看護学科／助教 室谷 寛

本年度より成人看護学(慢性期)講座に着任しました。病気とともにその人がその人らしく生きるための研究活動や教育を中心に、この富山の地域へ貢献できるように励んでいく所存です。よろしくお願いいたします。

Schedule スケジュール【令和4年度】

August
8月

射水キャンパス

- 高校生向け科学技術体験講座（開催日未定）
- 6日 木 ムジカ・ヴィンチ祭
- 7月29日 月～8月18日 木 授業又は試験又は補講
- 20日 木 キャリア支援（就職・進学）セミナー
- 22日 月～9月9日 金 集中講義
- 23日 火、24日 水 大学院工学研究科入学者選抜

富山キャンパス

- 7月29日 月～8月18日 木 授業又は試験又は補講
- 17日 水 看護学部オープンキャンパス

September
9月

- 中旬～11月中旬 北陸三県大学学生交歓芸術祭（未定）
- 社会人向けセミナーレディメイド型講座
9/15 水 バイオ人材育成トレーニングコース

富山キャンパス

- 16日 金 キャリア支援（就職・進学）セミナー
- 26日 月～30日 金 集中講義（看護ケアとユマニチュードⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）

October
10月

- 3日 月 後期授業開始
- 秋季公開講座（開催日未定、7月頃に決定する予定）
- 22日 木、23日 金 大学祭
- 社会人向けセミナーレディメイド型講座
10/5 水～12/ 7 水 機械系コース
10/8 木～10/28 金 教養教育コース

射水キャンパス

- 6日 木 第2回進路ガイダンス
- 20日 木 第3回進路ガイダンス

富山キャンパス

- 24日 月～11月18日 金 基礎看護学実習Ⅱ
- 3日 月～2月17日 金 成人看護学実習Ⅰ・成人看護学実習Ⅱ
- 3日 月～12月16日 金 老年看護学実習Ⅱ、母性看護学実習

November
11月

- 秋季公開講座（開催日未定、7月頃に決定する予定）
- 25日 金 学校推薦型選抜

射水キャンパス

- 環境講演会（開催日未定）
- 10日 木 SPI対策講習

富山キャンパス

- 22日 火～12月15日 水 基礎看護学実習Ⅰ（火、水、木曜日実施）
- 14日 月～2月17日 金 精神看護学実習、在宅看護学実習、小児看護学実習Ⅱ

※令和4年6月1日現在。新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、今後予定が変更になる可能性があります。最新の情報は大学HPをご覧ください。



放送部 ON AIR



初めまして、放送部です。私たち放送部は、もっと放送について知りたい、番組の感想を共有したいという思いから今年の

3月に創設された、新しい部活動です！

創設して間もないためこれといった活動はしていませんが、地元のラジオ局協力のもとラジオの編集技術を教えてもらったり、今放送されている番組について部員で話あったりしていこうと思っています。また、校内の活動としてNHKコンクールに向けて映像または音声作品を制作したり、ダ・ヴィンチ祭や大学祭で放送の魅力を発信したりしていきたいと思っています。

昨今様々なSNSから情報を入手したり、スマホ内で動画視聴が完結したりする時代ですが、そんな中で根強い人気があるラジオやテレビについて気になったことはありませんか？少しでも気になって頂けたら気軽に連絡してみてください。

私たちは全員素人なので、経験者はもちろん大歓迎ですし、興味が少しだけある方も是非入部してみませんか？

（Instagramアカウント toyama.pu.housou）
（機械システム工学科・2年生 神谷 魁成）

編集後記

COVID-19に対する感染防止対策を講じつつの大学活動も3年目に突入した。ここに至るまでに本学にも感染対策に関連したデータと経験値が蓄積され、教務課を中心とする分析によって「何をしたら危険か/安全か」が明らかになってきた。散発的に感染者は出たものの、基本的には通常の講義・実験は感染の主経路ではない模様である。これを受

けて昨年度後半から講義もほぼ全面的に対面再開となったが、近隣の大学関係者によれば、このようなデータに基づく軌道修正はいい意味で珍しいとのことである。比較的小規模で小回りの利く大学ならではの良さではないだろうか。入学当初からオンラインでの受講を余儀なくされた新生もはや3年生となり、キャンパスでの生活リズムにもすっかり馴染

んだように見える。4月に供用の始まったDX教育研究センターは県内企業との共同研究が重要ミッションの一つだが、学生主体のデータサイエンス・プロジェクトも積極的に受け入れている。センターの広々としたフロアでは、既に元気な学生達が活動を始めた。是非今後の活動も見守って頂きたい。
（広報・情報委員長 大寺 康夫）

